

平成28年度豊岡市障害者自立支援協議会（運営会議）

	平成28年度 地域課題	プロジェクトチームで取り組んだこと	見えてきたこと	下半期の方針	豊岡市への提言
せい か つ 部 会 （ 喀 痰 吸 引 に つ い て 検 討 す る プ ロ ジ ェ ク ト チ ー ム ）	喀痰吸引を行える支援員、事業所が少なく、医療的ケアの必要な利用者の受け入れが困難 北但における訪問介護事業所で医療的ケアが行える指定事業所はない 生活介護事業所において、看護師が配置されているものの慢性的な人材不足の状況がある	○情報共有 「見えてきたこと」に記載			
		○フローチャートを作成し、配布 目的：第三号研修受講から実地研修修了までの流れや必要な手続きの明確化	○研修受講から実地研修を受けるまでの流れが分かりにくい上、医療機関との連絡調整など手続きも複雑である。 ○事業所の指定を得るための手続きも複雑で分かりにくいものである。 ○第三号研修既受講者は情報がなく実地研修を受けられない状態であった一方、実地研修を指導できる訪問看護側では、実地研修の依頼がなく指導実績が無かった状況が分かった。 ↓ ○喀痰吸引の研修受講後の事業所に対するフォローアップ体制が整っていない。	○事業の指定を受けるまでの手順や必要書類などをまとめたフローチャートを作成	
		○フォローアップ研修の検討 目的：医療的ケアを提供する支援者のスキルアップと不安感の軽減 対象：第三号研修受講者や今後受講される支援者	○ヘルパーに医療的ケアを任せることに対して本人・家族の不安がある。 ○ヘルパーも医療的ケアを提供することに対して不安を感じている。 ○第三号研修受講後も、定期的な研修や情報交換の機会が必要だと思われる。 ○実施事業所と訪問看護事業所のマップ化をすることができれば、地域においてどこに事業所があり、どんなことをしてくれるのかが明確になり、利用者にも安心して制度を利用してもらえる環境を整えられるのではないかと。 ○実際に医療的ケアの提供を実施しているヘルパー事業所の体験談を聞く機会や情報提供を行うことで、利用者や支援者の双方の不安感の軽減を図れるのではないかと。	○フォローアップ研修企画及び実施 ○実施事業所と訪問看護事業所のマップを作成及び周知方法を検討する。	
		○喀痰吸引等の制度に対する意識調査のためのアンケートを作成 ・対象：豊岡市内のケアマネジャーや相談支援専門員 ・目的：ケアマネジャー及び相談支援専門員へ喀痰吸引や胃ろうなどの医療的ケアに対する意識調査および制度の周知	○ケアマネジャーや相談支援専門員の中には、医療的ケアについては訪問看護事業所が行うものであると思っている方が多いのではないかと。 ○但馬内で100名あまりの人が喀痰吸引を必要としており、訪問看護が多くのかすに関わっている。	○アンケート報告書の作成 ○各関係機関へ喀痰吸引等の制度の周知と今後の連携を呼びかける。	